

笑顔を引き出す 子どものコミュニケーション 理論と実践

2018年

12月2日(日)

13:00~14:30 : 講演

14:45~16:15 : ワークショップ

講師

ふたまた いずみ
二俣 泉氏

(昭和音楽大学准教授
日本音楽療法学会認定音楽療法士)

《会場》

リンクモア平安閣市民ホール 4階会議室
(青森市民ホール)

《定員》80名

※定員になり次第締め切らせていただきます。

《参加費》資料代が含まれます。

一般：2,000円 学生：1,000円

※当日受付でお支払いください。

申込方法はウラ面をご覧ください。

主催：特定非営利活動法人 青森音楽療法研究会

後援：青森県教育委員会・青森市・青森市教育委員会・青森県私立幼稚園連合会・一般社団法人青森県保育連合会
青森県自閉症協会・青森県重症心身障害児(者)を守る会・一般社団法人青森県手をつなぐ育成会

子どもの発達には他者との関わり（コミュニケーション）が不可欠です。
特にハンディを持つ子どもたちの場合には、独自の感性を持っていることが多いため、
彼らの特性を良く理解した上で関わりを持つということが重要になります。
セラピスト（療法士）や支援者は子どもを「ただ喜ばせる」だけでなく、
彼らが「生きやすく」なるように、そのための能力が向上していくように
導かなくてはなりません。

対象児が興味を持って取り組めて、なおかつ彼らの「適応性の拡大」に役立つ
“活動のネタ”が必要になります。

また、同じ“ネタ”でも、子どもに呈示する方法、関わり方によって活動の魅力は大きく左右されます。
特に音楽療法の場合、音楽の質や演奏方法によって対象児の反応は大きく異なります。
それらの「ちょっとした配慮」が“コツ”です。

本セミナーでは、発達障害の分野で多くの研究がおこなわれている応用行動分析（ABA）について講演し、
子どもの適応力を高める音楽療法での“ネタ”と“コツ”の一端をワークショップでご紹介します。



講師プロフィール

ふたまた いずみ
二俣 泉氏

国立音楽大学器楽学科（ヴァイオリン専攻）卒。同大学大学院修士課程（音楽教育学専攻）修了。筑波大学大学院修士課程（障害児教育専攻）修了。
ノードフ・ロビンズ音楽療法オーストラリア卒、ディプロマ（ノードフ・ロビンズ音楽療法）取得。
洗足学園音楽大学非常勤講師、日本大学芸術学部助手、東邦音楽大学准教授を経て、現在、昭和音楽大学准教授、日本大学医学部兼任講師。日本音楽療法学会認定音楽療法士。

著書：音楽療法士サバイバル・ブック（杏林書院）
音楽療法を知る—その理論と技法—（共編著・杏林書院）
音楽で育てよう子どものコミュニケーション・スキル（共著・春秋社）
音楽療法曲集・静かな森の大きな木（共編著・春秋社）ほか

申込方法

青森音楽療法研究会ホームページ
https://aomori-mta.org/seminar_form/
の申込フォームに必要事項
を記入して送信ください。
右にあるQRコードからも
アクセスできます。
(電話でのお申込みはご遠慮願います。)



申込締切

2018年11月26日(月)

問い合わせ



NPO法人青森音楽療法研究会 事務局
TEL: 090-6258-7881
mail: mt_aomori@yahoo.co.jp

会場



リンクモア平安閣市民ホール
〒038-0012 青森市柳町一丁目2番14号

※個人データについての機密は保持し、本セミナー以外の目的には利用致しません。

※本セミナーの写真を報告書・広報に使わせていただくことがあります。

※会場の駐車場には限りがございます。ご来場の際は公共交通機関または近隣の有料駐車場をご利用ください。